

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム メロディ

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	開設時に作ったホーム独自の理念を事務所の入り口に掲示しているが、関心の薄い職員もいるので、玄関やリビング、トイレ等にも掲示し、理念を職員一人ひとりが常に意識して、介護の実践に取り組んでいく。	理念を朝の申し送り時に唱和したり、理念について職員間で話し合い、毎日の業務が理念に沿ったケアになっているかを確認しながら、利用者が一日一日を生き生きと暮らせる、介護サービスの提供に取り組んでいく。	6ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	開設して1年が過ぎて、利用者もホームの暮らしに馴染んできたので、利用者が外出する機会を増やし、散歩や畑仕事、買い物等を利用者の状態や、職員の勤務体制に合わせて行い、利用者の気分転換を図っていく。	職員の勤務体制がまだ不足気味で、絶対数が足りないなので、今の体制で出来る外出の支援を検討し、少しの時間でも外気浴や太陽の日差しを浴びて、季節を五感で感じてもらい、利用者の生きる力を引き出していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。